

製品名: IKK アルファ/ベータウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab03395

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 85 kDa; Observed MW: 85 kDa

抗原情報

遺伝子名	CHUK/IKKB CHUK; IKKA; TCF16; Inhibitor of nuclear factor kappa-B kinase subunit alpha; I-kappa-B
別名	kinase alpha; IKK-A; IKK-alpha; IkbKA; IkappaB kinase; Conserved helix-loop-helix ubiquitous kinase; I-kappa-B kinase 1; IKK1; Nuclear factor NF-kappa-B
遺伝子 ID	1147/3551
SwissProt ID	O15111/O14920
免疫原	抗血清はヒト IKK- α/β 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

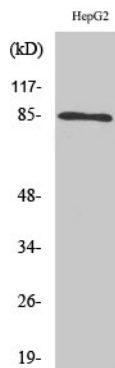
背景

IKK- β はIKKファミリーに属するキナーゼです。NF- κ B阻害薬をリン酸化することで、阻害薬/NF- κ B複合体の解離を誘導し、最終的には阻害薬を分解します。IKK- α とのヘテロ二量体として好んで見られますが、ホモ二量体として存在することもあります。

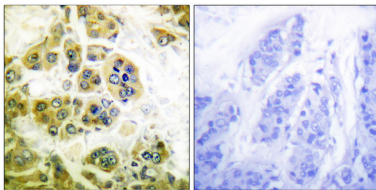
研究分野

シグナル伝達

画像データ



IKK α/β 抗体を使用した HepG2 溶解物中の IKK α/β のウェスタン プロット分析。



IKK α/β 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。